

共謀罪とは何か？緊急トークイベント

極めて不可思議な状況の中で、戦後で最も危険な法案が国会に提出されようとしています。共謀罪を改め「テロ等準備罪」と呼んで、2020年のオリンピックに向けたテロ対策と安倍首相は強調するも、政府・法務省が内示した法案の中にテロという言葉がないなど、「共謀罪のラベルを張り替えただけ」とも言われています。

今から12年前から、共謀罪に関して国会審議で深く掘り下げ、過去三回の廃案につなげた論戦を担った保坂展人と平岡秀夫元法務大臣が緊急にこの「共謀罪」について問題提起いたします。なぜ、共謀罪は過去に3回も廃案になったのか。与野党でどんな議論が行われたのか。その教訓と論点を浮き彫りにして、「ラベルの張り替え」と単なる焼き直しで成立する危険について徹底的に論じます。

共謀とは何か。「テロ対策」なら必要な法整備をするだけで足りるのに、なぜ包括的な共謀罪の成立を急ぐのか。戦前の「治安維持法」もふりかえりながら、わかりやすく議論します。

日時 **3月26日(日)** 17:45開場/18:00開会/21:00終了

会場 **北沢タウンホール2階 第1・第2集会室** 東京都世田谷区北沢2丁目8-18

トーク **平岡秀夫**(元法務大臣) **塩村あやか**(東京都議会議員) **保坂展人**(世田谷区長)

資料代 **1,000円** ※参加申込は以下のサイトよりお願いいたします。

▶ <http://www.kokuchpro.com/event/hosaka20170326/> (こくちーず)



平岡秀夫 (元法務大臣)

1954年山口県で出生。1976年大蔵省(現在の財務省)に入省。内閣法制局参事官として多くの重要法案の整備に関わる。2000年6月に衆議院議員となり、5期当選。05年9月に衆議院法務委員会の野党筆頭理事に就任し、それから9か月間、共謀罪法案の審議で政府・与党と激しく論争の上、成立を阻止。09年7月に民主党が「政策インデックス2009」で「共謀罪を導入することなく本条約を批准する」方針を作成する取りまとめ役となった。2009年9月の民主党政権誕生後の11年9月、第88代法務大臣に就任。同年11月に法務省・外務省の関係部局に共謀罪創設問題解決策の検討を具体的に指示したが、その翌年1月、内閣改造時に法務大臣を交替したため、政府内の検討は未了に終わった。12年12月と14年12月の総選挙で落選し、政界引退。現在、弁護士として活動中で、日弁連共謀罪法案対策本部委員。

塩村あやか (東京都議会議員)

広島県出身。高校卒業後に上京し、モデルやライター放送作家を経て東京都議会議員1期。女性が働きやすい環境整備や、動物愛護、平和施策など取り組む。女性議員を増やすための取組みも。世田谷区選出。次期衆議院選挙に向け広島3区の総支部長に就任。



保坂展人(世田谷区長)

ジャーナリスト。1955年、宮城県仙台市生まれ。高校進学時の「内申書」をめぐって「内申書裁判」をたたかう。1980年代から学校、教育問題をテーマにジャーナリストへ。1996年総選挙で衆議院議員となり、2009年まで、3期11年間をつとめ、国会質問546回を重ね「質問王」の異名をとる。2011年4月から世田谷区長。近著に『88万人のコミュニティデザイン』(2014年・ほんの木)、『闘う区長』(2012年集英社新書)、『相模原事件とヘイトクライム』(2016年・岩波ブックレット)、『脱原発区長はなぜ得票率67%で再選されたのか?』(2016年・ロッキング・オン) 2005年から2006年にかけて、衆議院法務委員会で共謀罪の危険性を指摘。「目配せ」でも成立の答弁は有名になった。

主催 **保坂展人と元気印の会 | リベラル日本研究会 | DARWIN ROOM**

[お問い合わせ]保坂展人と元気印の会

TEL03-6379-2107 FAX03-6379-2108 E-mail:hosakanobuto@tenor.ocn.ne.jp

